



XC90

QUICK GUIDE



VÄLKOMMEN!

本書(クイックガイド)には、ボルボ車に搭載されているさまざまな機能の概略が記載されています。各機能の詳しい情報は、センターディスプレイ、アプリおよびウェブで利用できるオーナーズマニュアルに収録されています。



車両のセンターディスプレイ

オーナーズマニュアルはセンターディスプレイのトップビューから利用できます。



モバイルアプリ

オーナーズマニュアルはスマートフォンおよびタブレット用アプリ (Volvo Manual) の形で用意されています。このアプリには一部の機能のビデオチュートリアルも収録されています。



ボルボのサポートサイト

ボルボ・カーズサポートサイト (support.volvocars.com) では、マニュアルやビデオチュートリアルをはじめ、ボルボ車および車両の保有に関して役立つ情報をご提供しています。



印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報を収録した SUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL (オーナーズマニュアル付録冊子) が収納されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連付録は別途注文することができます。

内容

01. ボルボ車を理解する

ここでは、ボルボのシステムおよびサービスの一部について情報を提供するとともに、内部および外部の概要とセンターディスプレイについて紹介します。

02. インテリアおよび接続部

ここでは、車内のさまざまな機能(シート設定やインターネット接続など)について確認することができます。

03. センターディスプレイのビュー

ここには、車両の多くの機能を操作できる、センターディスプレイのさまざまなメインビューに関する情報が記載されています。

04. スマートドライビング

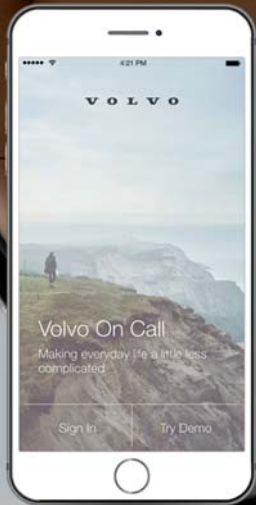
ここでは、車両の運転者サポートシステムのいくつかについて説明し、より経済的に運転できる方法についてヒントを紹介します。

05. 音声認識

ここには、車両の音声認識システムで使用できるさまざまなコマンド/フレーズがあります。

06. 特別なメッセージ

かならずお読みいただく必要のある警告、重要情報、注意事項



はじめに

ボルボ車を最良の方法で使い始めるために、知っておくと便利な機能、用語およびヒントがいくつかあります。

Volvo ID

Volvo ID はオンラインでさまざまなサービスを利用するときに使用する個人用 ID です¹。volvocars.com のパーソナルログイン、コネクテッド・サービス予約オプションなどがその例です。Volvo ID は、volvocars.com で作成する方法と車両で直接作成する方法があります。

Sensus

Sensus は車両の知的インターフェースで、エンターテインメント、インターネット接続、ナビゲーション*および情報サービスに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

運転者プロフィール


車内で行う多くの設定は運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。各キーは1つの運転者プロフィールに関連付けることができます。運転者プロフィールの詳細については、本 Quick Guide の「トップビュー」の項を参照してください。


¹ サービスの種類は車両の構成および市場により異なります。



エクステリア概要

- ① **タイヤ空気圧の点検および校正 (ITPMS)*** は、センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリの **タイヤ監視システム** を使用して行います。タイヤ空気圧が低下すると、ドライバーディスプレイに (⚠) シンボルが点灯します。タイヤ空気圧が低下した場合、4 輪すべてのタイヤ空気圧を点検および調節し、校正ボタンを押して ITPMS 校正を開始します。
- ② **エンジンオイルレベルの点検** は、**車両の状態** アプリから行います。**車両の状態** では、ステータスメッセージおよびコネクテッド・サービス予約* を確認することもできます。
- ③ **ドアミラー** は、リバースギヤを選択したときに自動的に* 下方向に傾けることができます。車両をリモートコントロールキーでロック/ロック解除したときに、ドアミラーを自動的に* 格納/展開することができます。これらの機能は、センターディスプレイのトップビューで **設定** → **My Car** → **ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** の順に選択してオンにします。
- ④ **キーレスロック/ロック解除*** では、リモートコントロールキーをポケットなどに入れて携帯しているだけで、車両のロックやロック解除を行うことができます。リモートコントロールキーは車両から約 1 m (3 フィート) の範囲内にある必要があります。
 ドアハンドルをつかむか、テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。車両をロックするときには、いずれかのドアハンドルの感応式ロックスイッチを軽く押します。両方の感圧面に同時に触れないようにしてください。
- ⑤ **パノラマルーフ*** には開閉式のガラスカバーおよびサンブラインドがあり、車両が **I** 以上のイグニッション位置のときに、ルームミラーの上にあるコントロールボタンを使用して操作します。コントロールボタンを押上げるとベンチレーション位置まで開き、コントロールボタンを引き下げると閉じます。パノラマルーフを全開にするには、コントロールボタンを後方へ 2 回引きます。コントロールボタンを 2 回引き下げると閉じます。
- ⑥ **パワーテールゲート*** は、たとえば、リアバンパーの左下で前方にゆっくりキックをするような動作(キック操作のテールゲート機能*)で開


けることができます。テールゲートの下端にある  ボタンを使用すると、テールゲートを閉じてロックすることができます。ゆっくりキックをするような動作でテールゲートを閉じることもできます。足の動きでテールゲートをロック解除するには、車両にキーレスロック/ロック解除機能* が装備されている必要があります。足の動きで開閉するには、リモートコントロールキーが車両から後方約 1 m (3 フィート) の範囲内にある必要があります。


ガレージでテールゲートが天井に当たることを防止するために、開口位置を設定することができます。開口位置を設定するには、テールゲートを開けて、目的の位置で止めます。次に、 を 3 秒以上押しすと、その位置が保存されます。





ロック/ロック解除

リモートコントロールキー

 1 回短く押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップがロックされ、アラーム* がセットされます。長押しをすると、パノラマルーフ*とすべてのパワーウインドが同時に閉まります。

 1 回短く押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップがロック解除され、アラーム*が解除されます。長押しすると、すべてのパワーウインドが同時に開きます。

 1 回短く押すと、テールゲートのみのロックとアラームが解除されま
す。長押しすると、パワーテールゲート*が開閉します。

 パニック機能は方向指示器およびホーンを作動させて、必要時に注意
を引き付けます。作動させるには、ボタンを 3 秒間押すか、ボタンを
3 秒以内に 2 回押します。この機能は、5 秒間以上作動した後であれ
ば、同じボタンを使用して解除することができます。放置した場合、
3 分後に自動的に解除されます。

プライベートロック



プライベートロックはテールゲートおよびグローブボックスを
ロックする機能で、車両を点検整備やホテルで預けるときなど
に役立ちます。

– センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック**
をタップすると、機能がオン/オフになります。

オンまたはオフにするためのポップアップウィンドウが表示されます。
ロックを使用するたびに、4桁のコードが選択されます。初めて機能を使
用する際は、追加のセキュリティコードを選択する必要があります。



3

2

1

7

8

4

5

6

インテリア概要

- ① **センターディスプレイ**は、車両の主要機能(メディア、ナビゲーション*、エアコンディショナー、運転者サポートシステム、車載アプリなど)の多くの操作に使用されます。
- ② **ドライバーディスプレイ**には、速度、エンジン回転数、ナビゲーション*、アクティブ運転者サポートなど運転に関連する情報のほとんどが表示されます。ドライバーディスプレイに表示される情報は、アプリメニューを使用して選択できます。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してアプリメニューを開き、メニュー内を移動します。設定は、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → メーター** の順に選択して行うこともできます。
- ③ **ヘッドアップディスプレイ***は車両のドライバーディスプレイを補完し、ウインドスクリーンに情報を映します。ヘッドアップディスプレイを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。
- ④ **スタートノブ**を使用して、車両を始動します。時計回りに回して手を離すと、イグニッション位置 **I** になります。オートマチックトランスミッション車の場合、車両を始動するには、ギヤポジション **P** または **N** を選択する必要があります。マニュアルトランスミッション車の場合、クラッチペダルを踏み込む必要があります。ブレーキペダルを踏み込み、そのままの状態ですタートノブを時計回りに回すと車両が始動します。スタートノブを時計回りに回すと、車両がオフになります。
- ⑤ **ドライブモード***は、中央(左右のシートの間)にあるコントロールを使用して設定します。車両はつねに Comfort モードで始動します。コントロールを押して、センターディスプレイで **Comfort**、**Off Road**、**Eco**、**Dynamic**、**Individual** のいずれかを選択します。ドライブモードコントロールを押して確定します。**Individual** を使用すると、好みの走行特性に応じてドライブモードを調節することができます。オンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → ドライブモード** の順に選択します。
- ⑥ **パーキングブレーキ**は、**(P)** コントロールを引き上げたときに作動します。作動に伴ってドライバーディスプレイのシンボルが点灯しま

す。手で解除するには、ブレーキペダルを踏み込んだ状態でコントロールを押し下げます。停車時オートブレーキ機能 **(Ⓞ)** を使用すると、信号待ちなどにより停車した場合、ブレーキを作動させたままブレーキペダルから足を離すことができます。

自動洗車機を使用するときには、停車時オートブレーキ機能およびパーキングブレーキの自動作動をオフにする必要があります。後者は、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → パーキングブレーキおよびサスペンション** の順に選択して行うことができます。

- ⑦ **助手席側エアバッグのスイッチ***は、助手席側のダッシュボードの端にあり、助手席ドアを開けて操作します。助手席側エアバッグ機能をオン/オフにするには、スイッチを外側に引き出して **ON/OFF** に回します。
- ⑧ **グローブボックス**は **(G)** ボタンを使用して開けます。

13:45

Ånäsvägen
現在地

Lune - Leave The World...

Daniel's Phone
Telenor

スタジオ
運転席にサウンド最適化

22°C AUTO 22°C

センターディスプレイ

センターディスプレイでは、設定とほとんどの機能の操作を行うことができます。センターディスプレイには、ホームビュー、機能ビュー、アプリビューの3つのメインビューがあります。右または左にスワイプすると、ホームビューから機能ビューおよびアプリビューに切り替えることができます。さらに、ディスプレイの上部を下方方向にドラッグすることでアクセスできるトップビューもあります。

センターディスプレイおよびドライバーディスプレイの外観を変更する

には、トップビューの **設定**⇒ **My Car** ⇒ **メーター** でテーマを選択します。ここでは、センターディスプレイの背景の明るさを選択することもできます。

別のビューからホームビューに戻るには、ディスプレイの下にあるホームボタンを短く押します。ホームビューで最後に使用していたモードが表示されます。ホームボタンをさらに短く押すと、ホームビューのすべてのタイルが標準モードに設定されます。

センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイの下にあるホームボタンを長押ししてタッチ機能をロックしてください。ホームボタンを短く押すと、ディスプレイは再度有効になります。

ステータスバーはディスプレイの上部にあり、車内のアクティビティを表示します。ステータスバーの左側には、ネットワークおよび接続情報が表示されます。右側にはメディア関連情報、時間、バックグラウンドアクティビティインジケータが表示されます。

クライメート列は画面の下部にあり、対応するアイコンをタップすることにより、温度およびシートコンフォートを設定できます。クライメート列のセンターボタンをタップして、クライメートビューを開きます。



フロントパワーシート*

シート位置やランバーサポート*などの調節には、シートの外側にあるコントロールを使用します。シート位置の変化が把握しやすいように一方のコントロールはシートのような形になっています。もう一方のコントロールはマルチファンクションコントロール*で、ランバーサポート、マッサージ*などの調節に使用します。

シート形コントロール

シートクッションの調節またはシート全体の移動には、下側のコントロールボタンを使用します。バックレストの角度調節には、リアコントロールボタンを使用します。

マルチファンクションコントロール*

マッサージ*、サイドサポート*、ランバーサポート*、シートクッションエクステンションの設定は、マルチファンクションコントロールとリンクしています。

1. コントロールを回すと、センターディスプレイのシート設定が起動します。
2. コントロールを回して、センターディスプレイで目的の機能を選択します。
3. マルチファンクションコントロールの上/下/前/後部を押し込んで、設定を変更します。

設定の保存

1. シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*をお好みの位置に設定して、ドアパネルの **M** ボタンを押します。ボタンのライトインジケーターが点灯します。
2. 3秒以内にメモリーボタン **1**、**2** または **3** を押します。確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

保存したシート設定を使用するには：

- ドアが開いているとき - メモリーボタンの1つを押して指を離します。
- ドアが閉じているとき - 保存された位置になるまで、メモリーボタンの1つを押したままにします。

リアシートのバックレストを倒す

リアシートのバックレストを倒す前に、場合によっては、フロントおよびリアシートを調節する必要があります。

2列目のセンターシート

1. バックレストとヘッドレストの間にあるボタンを押して、手でヘッドレストを倒します。同時に、ヘッドレストを押し下げます。
2. センターシートのベルト **1** を前方に引き上げながら、シートを折りたたみます。

2列目のドア側シート

- ドア側シートの側面にあるハンドル **2** を引き上げて、シートを倒します。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。

3列目シート*

- バックレストの上部にあるハンドルを前方に引き上げます。バックレストを前方に折りたたみます。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。
- 2列目シートを持ち上げながら、ベルト/ハンドルを前方に引き上げる必要があります。インヒビターがロックされるまでバックレストを起こしません。ヘッドレストは手で起こします。
- 3列目シートに乗り込む場合、中央列のシートの上部にあるハンドル **3** を前方に引き上げます。バックレストを倒して、シート全体を前方にスライドさせます。





ステアリングホイール

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールの位置は、高さと前後の調節が可能です。

1. ステアリングホイールの下にあるレバーを前方に押し、ステアリングホイールをお好みの位置に調節します。
2. レバーを手前に引いてロック位置に戻します。

左側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイで運転者サポートを選択するには、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンの矢印(◀ および ▶)を使用します。運転者サポートシンボルが白色の場合は、機能がオンになっています。灰色は機能がオフまたはスタンバイモードであることを意味します。

ドライバーディスプレイのディスプレイシンボル：


- 🚗 **速度リミッター**は、設定された上限速度を超過しないようにします。
 - 🚗 **クルーズコントロール**は、一定の速度を保つよう支援します。
 - 🚗 **アダプティブクルーズコントロール***は、あらかじめ設定した前方車両との車間時間を維持しながら、一定速度を保つよう支援します。
 - 🚗 **Pilot Assist²**は、あらかじめ設定した前方車両との車間時間を維持しながら一定速度を保つとともに、ステアリングアシストを使用して自車を車線内に維持するよう支援します。
 - 🚗 を押すと、選択した機能が起動または停止します。
- + / — を1回短く押しと、設定速度が5 km/h (5 mph)増加/減少します。ボタンを長押しすると無段階で変化します。目的の速度になったらボタンから指を離します。

ニ/三 は、アダプティブクルーズコントロールおよびPilot Assistの使用中に先行車との距離を短く/長くします。


選択した機能を設定速度に戻すときも、○+ を1回押します。

右側のステアリングリモコン

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用すると、ドライバーディスプレイを操作することができます。


 ドライバーディスプレイのアプリメニューを開いたり閉じたりできます。ここから、トリップコンピューター、メディアプレーヤー、電話、ナビゲーションを操作することができます。

 左右の矢印を押して、使用可能なさまざまなアプリ間を移動します。

 オプションを選択、選択解除または確定します(トリップコンピューターのメニューの選択、またはドライバーディスプレイのメッセージの削除など)。

 上または下を押して、選択したアプリの機能間を移動します。

メディア音量を上げる/下げるには、▼ および ▲ を押します。ほかに作動している機能がない場合、これらのボタンは音量コントロールの役割を果たします。

音声認識をオンにするには、 ボタンを使用します。これにより、メディア、ナビゲーションおよびエアコンディショナーなどを音声で操作できるようになります。例えば、「ラジオ」、「温度を上げる」または「キャンセル」と発声してください。

音声コマンドについては、本Quick Guideの「音声認識」の章を参照してください。

トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行距離、燃費、平均速度などを表示します。ドライバーディスプレイに表示するトリップコンピューターからの情報を、選択することができます。トリップコンピューターは走行可能な距離を計算します。さまざまなオプションを表示するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してください。ドライバー


ディスプレイに「----」と表示されるときは、保証できる走行可能な距離が残っていないことを表します。

2 この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。



左側レバースイッチ

ヘッドライト機能の操作には左側レバーを使用します。

AUTO モードを使用すると、車両は車外の明暗を検知し、状況に応じて照明を調整します(日没後やトンネルに入ったときなど)。レバースイッチのコントロールダイヤルを  にすると、対向車を検知して自動的に減光されるハイビームを使用することもできます。ハイビームを手動でオンにするには、レバースイッチを奥の方へ動かします。レバースイッチを手前に動かすと、オフになります。

アクティブベンディングランプ*は、ライトがステアリングホイールの動きに追従することによりカーブや交差点で十分な明るさを確保できるように設計されています。この機能は車両を始動すると自動的に起動しますが、センターディスプレイの機能ビューでオフにすることもできます。

アプローチライトは、キーを使用して車両をロック解除したときに車外のライトを点灯させて、暗闇でも安全に車両に近づけるようにします。

ホームセーフライトは、車両がロックされた後にエクステリアランプの一部を点灯させ、暗闇を照らします。この機能をオンにするには、車両をオフにした後、左側レバースイッチをメーター・パネルの方へ動かして放します。ホームセーフライトの点灯時間は、センターディスプレイで設定することができます。


トリップメーターのリセット

RESET ボタンを長押しすると、手動トリップメーター(TM)のすべての情報がリセットされます。短く押すと、走行距離のみがリセットされます。自動トリップメーター(TA)は、車両を使用しない状態が4時間続くと、自動的にリセットされます。


右側レバースイッチ


ワイパーブレードおよびレインセンサーの操作には右側レバーを使用します。

- ワイパーを1回だけ作動させるときは、レバーを下側に動かします。
- レバーを上側に段階的に動かすと、作動速度が間欠、通常、高速の順に切り替わります。
- 間欠速度の調節には、レバースイッチのコントロールダイヤルを使用します。
- レバースイッチをステアリングホイールの方向に動かすとウインドスクリーンウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャーが作動し、メーター・パネルの方向に動かすとリアウインドウォッシャーが作動します。

 レインセンサーボタンを押してレインセンサーをオン/オフにします。レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感じて、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。コントロールダイヤルを上下に回して、感度を調節します。

 リアウインドワイパーを間欠作動させるときに押します。

 リアウインドワイパーを連続作動させるときに押します。

 ワイパーブレードの交換、清掃または持ち上げ時などには、ウインドスクリーンワイパーのサービスポジションを使用します。センターディスプレイの機能ビューで **ワイパーの サービス位置** ボタンをタップすると、サービスモードのオン/オフを切り替えることができます。





車内エアコンディショナー

プリコンディショニング

プリコンディショニングは車両のセンターディスプレイを使用して設定できます。プリコンディショニングは、運転前にエンジンおよび車内を暖めたり*、車内を換気したりして快適な温度にします。走行中のエネルギー必要量が減るとともに、損耗も低減させることができます。プリコンディショニングは直接作動させる方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

プリコンディショニングの直接作動

1. ディスプレイの下部をタップして、センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択して、**プリセット** をタップします。

プリコンディショニングのタイマー設定

- クライメートビューで **駐車温度調整 → タイマーを追加** を選択し、必要に応じて日付/曜日を設定します。

エアコンディショナー設定

車内の前部および後部のエアコンディショナー機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソールの後部* で操作します。エアコンディショナー機能の中には、音声認識で操作できるものもあります。



クライメートビューへアクセスするためのアイコンは、センターディスプレイの下中央にあります。**Clean Zone** の文字が青色で表示されている場合、車内の空気が良好な状態であることを示しています。

- クライメートビューで **AUTO** をタップすると、一部のエアコンディショナー機能が自動的に制御されます。短く押すと、エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されます。長く押すと、エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されるとともに、温度とファン速度が標準設定の 22 °C (72 ° F) およびレベル **3** (後部座席はレベル **2**³⁾) に変更されます。温度およびファン速度は、オートエアコンディショナーをオフにすることなく変更できます。

- センターディスプレイの下端にあるクライメート列でアイコンの 1 つをタップすると、温度、シートヒーター* およびファン速度を調節できます。

すべてのゾーンの温度を運転席側の温度と同期させるには、運転席側の温度アイコンと **温度同期** をタップします。

空気清浄システム IAQS*

IAQS は、Clean Zone Interior Package*の一部で、車内の空気から粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去する全自動システムです。機能をオンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → 温度調整 → 空気清浄度センサー** の順に選択します。

³ 4ゾーンエアコンディショナー* 装備車の場合。



接続

スマートフォンなどさまざまな外部機器から、音声認識を使用して、メディア、SMS、電話を操作したり、車両をインターネットに接続したりすることができます。接続している機器を使用するには、車両の電気系統が【I】以上のイグニッション位置である必要があります。

カーモデム⁴

車両をインターネットに接続するもっとも簡単で効果的な方法は、カーモデムを使用する方法です。カーモデムは最高の性能を備え、スマートフォンとの接続が不要で、走行のたびに自動的にオンになります。

1. パーソナル SIM カードをカーゴスペースのホルダーに挿入します。
2. トップメニューで **設定** → **通信** → **カーモデムインターネット** をタップします。
3. **カーモデムインターネット** のボックスにチェックを付けてオンにします。

テザリング

車両がモデム経由でインターネットに接続されているときに、トップビューの **設定** でインターネット接続をほかの機器と共有することができます(Wi-Fi ホットスポット)。 **通信** → **車両 Wi-Fi ホットスポット** をタップします。

Bluetooth

Bluetooth を使用すると、携帯電話を車両に接続して、主に通話、SMS およびメディアを操作することができます。Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続することもできます。Bluetooth 機器は同時に 2 台接続することができます。その場合、1 台はメディアのストリーミングのみが可能です。次の車両の使用時には、最後に接続された携帯電話 2 台が自動的に接続されます(携帯電話の Bluetooth がオンになっている場合)。後で接続しやすくなるように、最大で 20 台の機器がリストに保存されます。

1. お使いの携帯電話で Bluetooth を有効にします。インターネットに接続するには、携帯電話のテザリングも有効にします。
2. センターディスプレイのホームビューで **電話** サブビューを開きます。
3. **電話を追加** をタップします。携帯電話がすでに接続されている場合、**変更、電話を追加** の順に接続します。
4. 接続する携帯電話を選択して、センターディスプレイおよび携帯電話の指示に従います。携帯電話によっては、メッセージ機能をオンにする必要があります。

Wi-Fi

車両を Wi-Fi 経由でインターネットに接続すると、車載アプリによるインターネットラジオや音楽、ソフトウェアのダウンロード/アップデートなどのオンラインサービスを Bluetooth よりも高速で利用することができます。スマートフォンによる Wi-Fi 接続は、車両および車内のほかの外部機器のホットスポットとして機能します。

1. お使いの携帯電話でテザリングを有効にします。
2. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
3. **通信** → **Wi-Fi** をタップし、Wi-Fi 接続のボックスにチェックを付けてオンにします。

車両との接続が切断されると、一部の携帯電話はテザリングがオフになります。したがって、次の使用時には携帯電話のテザリングを再度有効にする必要があります。

USB

USB 経由では、外部機器を接続してメディアを再生できます。USB ポートは Apple CarPlay* および Android Auto* に使用することもできます。外部機器は車両接続中に充電されます。

- 1 USB ポートは左右のシートの間にあるアームレストの小物入れの中に設置されています。

電源ソケット

車両には以下の電源ソケットが用意されています。

- 2 12V 電源ソケット。
- 3 12V 電源ソケットおよび 230V 電源ソケット*。カーゴスペースにも 12V 電源ソケット* が 1 つあります。

4 Volvo On Call* 搭載車両のみ。カーモデムを使用して接続すると、Volvo On Call サービスはこの接続を使用します。




接続した機器を使用する

外部機器を接続すると、車両のオーディオ・メディアシステムでメディアを再生したり、通話に対応したりすることができます。






通話の操作⁵


Bluetooth 接続の携帯電話から電話の発信/着信が可能です。

センターディスプレイを使用して電話する

1. ホームビューで **電話** サブビューを開きます。通話履歴の使用、連絡先リストの使用、またはキーパッドによる番号入力 of のいずれかの方法で通話先を選択します。
2.  を押します。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して電話する

1.  を押し、 または  を押して、**電話** に移動します。
2.  を使用して通話リストをスクロールし、 で選択します。

音声認識を使用して通話を操作することもできます。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある音声認識ボタン  を押します。音声コマンドについては、本 Quick Guide の「音声認識」の章を参照してください。

メディアの再生

外部機器からオーディオを再生するには、選択した方法でその機器を車両に接続する必要があります。接続方法については、前のページを参照してください。



Bluetooth 接続のデバイス

1. 接続したデバイスで再生を開始します。
2. センターディスプレイのアプリケーションビューで **Bluetooth** アプリを開きます。再生が開始します。

⁵ 車両に対応する携帯電話については、support.volvocars.com をご覧ください。



USB 接続のデバイス

1. アプリビューで **USB** アプリを起動します。
2. 再生するものを選択します。再生が開始します。



MP3 プレーヤーまたは iPod

1. デバイスで再生を開始します。
2. 接続方法に応じて **iPod** または **USB** アプリを開きます。
iPod から音楽を再生するには、接続方法に関わらず **iPod** アプリを選択します。再生が開始します。



Apple® CarPlay®*6 および Android Auto*

CarPlay および Android Auto を使用すると、携帯電話の一部のアプリを車両経由で使用することができ、音楽を再生したり、ポッドキャストを聞いたりすることなどができます。操作には車両のセンターディスプレイまたは携帯電話を使用します。

iPhone を使用する場合、CarPlay を使用する前に音声認識機能の Siri をオンにする必要があります。



1. 携帯電話を USB ポートに接続します。複数の USB ポートが装備されている場合、白フレームのポートを使用してください。
2. オンにするには、アプリビューで **Apple CarPlay** または **Android Auto** をタップしてください。



ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの  ボタンを長押しすると、CarPlay および Android Auto による音声認識がオンになります。短く押すと、車両独自の音声認識システムがオンになります。

CarPlay の使用中、Bluetooth はオフになります。必要に応じ、Wi-Fi またはカーモデム* を使用して車両をインターネットに接続します。

*6 Apple および CarPlay は Apple Inc. の所有する登録商標です。

13:45


- 1  **Änåsvågen**
現在地
- 2  **Lune - Leave The World...**
- 3  **Daniel's Phone**
Telenor
- 4  **スタジオ**
運転席にサウンド最適化


22°C    22°C


ホームビュー


センターディスプレイが起動すると、ホームビューが表示されます。ホームビューからは、ナビゲーション、メディア、電話、および最後に使用したアプリまたは車両機能のタイルにアクセスできます。

- 1 **ナビゲーション** - ここをタップすると、Sensus Navigation*による地図ナビゲーションにアクセスできます。

フリーテキストで目的地を設定する - 左側の下矢印を使用してツールバーを展開し、 をタップします。地図イメージがフリーテキスト検索に変わります。検索語を入力します。

地図で目的地を指定する -  で地図を最大化し、目的地を長押しします。

目的地を削除する -  をタップして、旅程を開きます。旅程から経由地を削除するには、ごみ箱をタップします。旅程全体を削除するには、**ルートをクリア** をタップします。

- 2 **メディア** - 外部機器からの音楽などが表示されます。アプリビューで **FM ラジオ** を選択した場合、こちらに表示されます。サブビューをタップすると、設定にアクセスできます。ここからは、音楽ライブラリ、ラジオ放送局などを表示できます。
- 3 **電話** - 電話機能へアクセスします。サブビューをタップすると拡大されます。ここでは、通話履歴または連絡先リストから電話をかけることなどができます。キーボードを使用して番号を手で入力することもできます。番号の選択が完了したら、 をタップします。
- 4 **最後に使用したアプリまたは車両機能** - ここでは、最後に使用したアプリまたは車両機能のうち、その他のタイルのいずれにも表示されていないもの(**車両の状態** または **燃費**など)を表示できます。サブビューをタップすると、最後に使用した機能にアクセスできます。

13:45

車両機能

ESCスポーツモード	レーンキープアシスト	パークアシスト
クロストラフィックアラート	車間警告	
カメラ	自動駐車	自動発車
ヘッドレストを倒す	ヘッドアップディスプレイの調節	Road Sign Information
ヘッドアップディスプレイ	BLIS	ブラインドスポットモニター
22°C	AUTO	22°C

機能ビューとアプリビュー

機能ビュー

ホームビューを左から右⁷にスワイプすると、機能ビューに移動できます。ここからは、**ヘッドアップ ディスプレイ**、**パークアシスト** および **Start/Stop** などさまざまな車両機能をオン/オフにすることができます。各シンボルをタップすると、オン/オフになります。一部の機能は、別のウィンドウで開きます。

アプリビュー

ホームビューで右から左⁷にスワイプすると、アプリビューにアクセスできます。車両に付属のアプリや、運転者ご自身がダウンロードおよびインストールを選択できるアプリが表示されます。

アプリおよびシステムの管理とアップデート



アプリビューの **ダウンロード センター** では、車両の一部のシステムをアップデートすることができます。この操作を行うには、車両がインターネットに接続されている必要があります。**ダウンロードセンター** を1回タップすると、ダウンロードアプリケーションが開きます。ここでは、以下のことができます。

アプリをダウンロードする - **新アプリ** をタップして、必要なアプリを選択します。**インストール** を選択して、アプリをダウンロードします。

アプリをアップデートする - すべてのアプリをアップデートするには、**全てインストール** をタップします。または、**アプリケーション更新** をタップして、利用可能なアップデートのリストを表示します。必要なアプリを選択して、**インストール** をタップします。

アプリをアンインストールする - **アプリケーション更新** をタップして、必要なアプリを選択します。**アンインストール** をタップして、アプリをアンインストールします。

システムソフトウェアをアップデートする - **システム更新** をタップして、車両にインストールできるアップデートのリストを表示します。- すべてのソフトウェアをアップデートするには、リストの下部にある **全てインストール** を、ソフトウェアプログラムを個別にインストールするには、**インストール** をタップします。リストが必要ない場合、**システム更新** ボタンの **全てインストール** を選択します。

アイコンの移動

アプリビューおよび機能ビューでは、車両機能のアプリおよびボタンを必要に応じて移動することができます。

1. アイコンを長押しします。
2. アイコンをビュー内の任意の空きスペースまでドラッグして放します。

⁷ 左ハンドル車の場合。右ハンドル車の場合は反対方向にスワイプします。

設定 オーナーズマニュアル プロフィール

- 車両状態アプリに車両情報を保存しました
- 助手席 再起動
- TuneInsをインストール中です
- 新しい位置を受信しました

22°C AUTO 22°C

トップビュー

ディスプレイの上部には、下方向にドラッグすることでトップビューを表示できるタブがあります。トップビューでは、**設定**、**オーナーズ マニュアル**、**プリアイド** および車両の保存済みメッセージにアクセスすることができます。

個人設定

設定では、ディスプレイ、ミラー、フロントシート、ナビゲーション*、オーディオ・メディアシステム、言語および音声認識など、多くの個人設定を設定することができます。

運転者プロフィール



複数の人が運転者として車両を使用する場合、運転者ごとに専用の運転者プロフィールを登録することができます。運転者として車両に乗るたびに、個人設定 が保存されている運転者プロフィールを選択することができます。プロフィールの数は、車両のキーの数によって異なります。**ゲスト** プロフィールは特定のキーには関連付けられません。

最初は、ロック解除のときに使用された運転者プロフィールが有効になっています。運転者プロフィールを変更するには、トップビューで **プリアイド** を選択します。

運転者プロフィールは車両のキーに関連付けることができるため、車両をロック解除すると、運転者の個人設定に合わせて車両の設定が自動的に調節されます。キーの関連付けは、**設定** → **システム** → **ドライバープロフィール** の順に選択して行います。運転者プロフィールの1つを選択します (**ゲスト** プロフィールは関連付けできません)。ホームビューが再表示されます。トップビューを下方向に再度ドラッグし、上記の指示に従って操作を繰り返し、選択したプロフィールで **編集** を選択してから **キー接続** を選択します。

Individual ドライブモード

Comfort、**Eco**、**Dynamic** ドライブモードの1つに独自の変更を加えたい場合、**設定** → **My Car** → **ドライブモード** でそのドライブモードを有効にします。

システム音量

システムサウンドの音量(画面のタップ音など)を調節またはオフにする場合、**設定** → **サウンド** → **システム音量** の順に選択してください。



運転者サポート

ボルボ車には運転者の安全運転を支援して事故を予防できる多くの機能が搭載されています。これらの機能はセンターディスプレイの機能ビューでオンにすることができます。運転者サポート機能は補助機能に過ぎません。いかなる場合でも、車両を安全に運転する責任は全面的に運転者にあります。機能には以下のようなものがあります。

City Safety™

City Safety⁸ は、車両、大型動物、歩行者、サイクリストとの衝突を防止または軽減するために、危機的な状況で運転者を支援することができます。衝突の危険がある場合、警告灯、警告音およびブレーキパルス警告で運転者に対処を促します。運転者による対処が間に合わず衝突がほぼ避けられない場合、車両にオートブレーキがかかります。City Safety はエンジン始動時にオンになり、オフにすることはできません。

Blind Spot Information (BLIS)*



BLIS は、死角にある車両や、隣車線を走行している急接近中の車両について知らせることができます。

Gross Traffic Alert (CTA)*



CTA は BLIS を補完する運転者サポートシステムで、車両後方の左右から近づいてくる車両について警告することができます。CTA は、リバースギヤを選択したとき、または車両が後方に動き出した場合に起動します。

レーン・キーピング・エイド



レーンアシスト (Lane Keeping Aid) は、車両が不意に車線から逸脱する危険を低減できるように運転者を支援することができます。必要な支援の形態は、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → IntelliSafe → Lane Keeping Aid モード** から選択します。

衝突回避ステアリングアシスト

衝突回避ステアリングアシストは、自発的なステアリング操作で車両を車線に戻したり、急ハンドルを切ったりすることで、車両が不意に車線から

逸脱する危険やほかの車両/障害物と衝突する危険を低減できるように運転者を支援することができます。この機能は、車道逸脱回避ステアリングアシスト、正面衝突回避ステアリングアシスト、追突回避ステアリングアシスト* の3つの補助機能で構成されています。この機能はセンターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → IntelliSafe → 衝突回避アシスト** の順に選択してオフにすることができます。

Pilot Assist

Pilot Assist⁹ は、車両を車線内に維持し、前方の車両との車間距離をあらかじめ設定された距離に維持するよう支援することができます。Pilot Assist は、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンを使用して選択し、オンにすることができます。ステアリングアシストが機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いていることや、車線境界線が視認できることなどがが必要です。ステアリングアシストが作動しているときには、ドライバーディスプレイに緑色のステアリングホイールシンボルが表示されます。

⁸ 一部の市場では利用できません。

⁹ この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。



04

パークアシスト

パークアシスト・パイロット*

パークアシスト・パイロットは、利用可能な駐車スペースの広さを確認し、広さが十分である場合、車両を操舵して駐車スペースに誘導することができます。運転者は車両周辺に注意しながら、センターディスプレイの指示に従ってギヤの選択、速度の制御、ブレーキ/停止の操作を行います。

パークアシスト・パイロットを使用して駐車する



1. 縦列駐車の場合は 30 km/h (20 mph) 以下で、並列駐車の場合は 20 km/h (12 mph) 以下で走行します。駐車スペースを探しているときは、車両と駐車スペースとの間に約 1 m (3 フィート) の距離が必要です。
2. 機能ビューまたはカメラビューで **自動駐車** ボタンを押します。
3. 適切な駐車スペースが見つかったことを示す画像およびテキストがセンターディスプレイに表示されたら、停車します。ポップアップウィンドウが表示されます。
4. センターディスプレイに表示される指示に従います。センターディスプレイの情報で停車を指示されたときにすぐに停車できるように備えておきます。

パークアシスト・パイロットを使用して駐車スペースから出る

この機能は縦列駐車をした車両にのみ使用できます。



1. 機能ビューまたはカメラビューで **自動発車** ボタンを押します。
2. 方向指示器を使用して、駐車スペースから出るときの方向を選択します。
3. センターディスプレイに表示される指示に従います。

パークアシスト・カメラ*

パークアシスト・カメラは、センターディスプレイに表示されるカメラ画像とグラフィックを使用して、車両周辺にある障害物の認識をサポートできます。カメラ画像およびガイドラインはセンターディスプレイで選択します。パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動

的に起動します。センターディスプレイから手動で起動することもできます。



- 機能ビューで **カメラ** ボタンをタップして、機能を手動でオン/オフにします。



さらにクリーンに走る喜びを

走行前の準備を整え、燃料効率のよい運転をすると、燃料消費量を低減できると同時に、大気中に排出する二酸化炭素およびその他の汚染物質の量も低減できます。これにより、運転者は環境への影響を低減するとともに、燃料費を節約することもできます。運転者自身が影響を与えることのできる要因もあれば、そうではない要因もあります。以下はいくつかのヒントです。

かならず以下のことを実行して、運転の準備をしてください。

- 計画的に走行してください。何度も不必要に停止したり、走行速度が一定でないと、燃料消費量が増加します。

燃料効率のよい運転をするには：

- **Eco** ドライブモードをオンにします。エネルギー効率の高い走行向けに車両が調整されます。
- 無用なアイドリングを避けます。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。
- 一定速度で走行し、ほかの車両や障害物との距離を十分に確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えます。
- 適切なタイヤ空気圧で走行し、定期的にタイヤ空気圧を点検します。ECO タイヤ空気圧を選択すると、最良の結果が得られます。
- 走行中はウインドを閉めておきます。

運転者が影響を与えることのできない要因

- 交通状況
- 道路の状態および地形
- 外気温および向かい風

燃料効率のよい運転のヒントについては、オーナーズマニュアルを参照してください。



音声コマンド

音声認識システムでは、音声認識¹⁰を使用して、メディアプレーヤー、Bluetooth 接続の携帯電話、エアコンディショナーシステムおよびボルボナビゲーションシステム* の一部の機能を操作することができます。音声認識を起動するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある音声認識ボタンを押します。

以下のコマンドは、いつでも使用することができます。

- リピート
- キャンセル
- ヘルプ

電話用の音声コマンド

- 電話 [contact]
- 電話 [telephone number] (電話番号)

- 履歴
- メッセージを読む
- メール宛先 [contact]

ラジオおよびメディア用の音声コマンド

- メディア
- 再生 [artist] (アーティスト)
- 再生 [song title] (曲名)
- 再生 [album] (アルバム) より [song title] (曲名)
- 再生 [TV channel name] (TV チャンネル名)*¹⁰
- 再生 [radio station] (放送局)
- 周波数 [frequency] (周波数)
- 周波数 [frequency] (周波数) [wavelength] (バンド)
- ラジオ
- ラジオ FM
- ラジオ AM
- TV*
- CD*
- USB
- iPod
- ブルートゥース
- 似た音楽

エアコンディショナーシステム用の音声コマンド

- エアコン
- 温度を X 度に設定
- 温度を上げる/温度を下げる
- 温度同期
- フロア送風オン/ボディ送風オン

- フロア送風オフ/ボディ送風オフ
- ファンを最大/ファンオフ
- ファン速度を上げる/ファン速度を下げる
- オートエアコンオン
- エアコンオン/エアコンオフ
- 車内循環オン/車内循環オフ
- デフロスターオン/デフロスターオフ
- デフロスターオン/デフロスターオフ
- エレクトリックデフロスターオン/エレクトリックデフロスターオフ*
- リアデフロスターオン/リアデフロスターオフ
- ステアリングヒーターオン/ステアリングヒーターオフ*
- ステアリングヒーターを上げる/ステアリングヒーターを下げる*
- シートヒーターオン/シートヒーターオフ*
- シートヒーターを上げる/シートヒーターを下げる*
- シートベンチレーションオン/シートベンチレーションオフ*
- シートベンチレーション上げる/シートベンチレーション下げる*

地図ナビゲーション用の音声コマンド*

- ナビゲーション
- 自宅
- 目的地は [city] (市町村)
- 交差点を追加
- 目的地は [prefecture] (都道府県) [district] (地区) [city] (市町村) ¹¹ [quarter number] (番地) ¹¹
- 目的地は [prefecture] (都道府県) [city] (市町村) [district] (地区) ¹¹ [town/locality] (区町村/字) ¹¹ [quarter number] (番地) ¹¹
- 目的地は [prefecture] (都道府県) [city] (市町村) [town/locality] (区町村/字) [quarter number] (番地) ¹¹

- 目的地は [prefecture] (都道府県) [town/locality] (区町村/字) [village] (村) ¹¹ [quarter number] (番地) ¹¹
- 目的地は [contact]
- 施設検索 [POI category] (POI カテゴリー)
- 施設検索 [POI category] (POI カテゴリー) [city] (市町村)
- 施設検索 [telephone number] (電話番号)
- お気に入りを表示
- 道順を削除
- 音声案内を繰り返す
- 音声案内オフ
- 音声案内オン

¹⁰ 特定市場に適用

¹¹ 省略できます。

特別なメッセージ

オーナーズマニュアルおよびその他のマニュアルには、安全に関するインストラクションが含まれています。かならずすべての警告、重要情報、注意事項をお読みください。一部の機能は、特定の市場でのみご利用いただけます。



警告

はじめに
Sensus Navigation™ - つねに道路状況に目を配り、運転に集中してください。交通法規を順守し、的確な状況判断で運転してください。道路状況に影響をおよぼす天候条件、または時期により、一部の推奨事項における信頼性が低くなる場合があります。

エクステリア概要

テールゲート - テールゲートを開閉するときには、手を挟まないように注意してください。閉じる前に、テールゲートの近くにだれもいないことを確認してください。挟まれてケガをする、と、深刻な結果を招くおそれがあります。テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

インテリア概要

車両に助手席側エアバッグのオン/オフ用スイッチが装備されていない場合、**助手席側エアバッグ**はつねにオンの状態です。助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。助手席に乗員(お子様および大人)を前向きで座らせるときには、必ず助手席側エアバッグを有効にしてください。助手席側エアバッグが装着されているダッシュボードの前や上には、絶対に物を置いたりアクセサリなどを取り付けないでください。

車両から離れるときには、必ず**リモートコントロールキー**を車外へ持ち出し、車両の電気系統がイグニッション位置 **0** になっていることを確認してください。お子様が車内にいるときには特に注意が必要です。

坂道に駐車するときには、必ず**パーキングブレーキ**を使用してください。ギヤを入れる、ま

たはオートマチックトランスミッションの **P** 位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

フロントパーワーシート

運転席シートの調節は、必ず走行前に行ってください。走行中は絶対に調節しないでください。急ブレーキや事故の際に、ケガをすることがないように、シートが確実に固定されていることを確認してください。

リアシートのバックレストを倒す

バックレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。ヘッドレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。3列目シートに乗員を乗せる場合には、必ず2列目ドア側シートのヘッドレストを起す必要があります。

車内エアコンディショナー

温度の上昇を感じることができない方やシートヒーターのコントロールを操作できない方は、**シートヒーター**™ を使用しないようにしてください。火傷を負うおそれがあります。

プリコンディショニングは、あらかじめタイマーを設定して開始することができます。ヒーターが装着されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを起動させると、排気ガスが排出します。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。例えば、右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

運転者サポート

車内で利用可能な運転者サポートシステムは、運転者の補助機能として設計されていますが、あらゆる交通条件、気象条件および道路条件ですべての状況に対応できるものではありません。これらのシステムは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つ

ねに運転者の責任です。車両の制動および操舵に関する最終的な責任はつねに運転者にあります。

車両を使用する前に、オーナーズマニュアルの運転者サポートシステムに関する項目をすべてお読みになることをお薦めします。

パークアシスト

パークアシスト・パイロットは補助的な運転者サポートですが、すべての状況に対応できるとは限りません。縦列駐車および並列駐車の際に運転者を支援することのみが目的です。車両の安全な駐車と必要に応じたブレーキ操作については、運転者が全面的に責任を負います。スキャンでは、駐車スペースの奥にある物体が検知されないことがあります。パークアシスト・パイロットから提案されたスペースが駐車に適しているかどうかを判断する責任はつねに運転者にあります。

パークアシスト・カメラは駐車のための補助的な運転者支援機能です。運転者の注意および判断に代わって代わるものではありません。カメラには死角があり、すべての物体を検知することはできません。車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。物体/障害物は、画面上の見かけより、車両に接近している可能性があります。

車両を使用する前に、オーナーズマニュアルの運転者サポートシステムに関する項目をすべてお読みになることをお薦めします。

音声コマンド

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。



重要

インテリア概要

トレーラーコネクターのないトレーラーを接続して走行しているときには、**OFF ROAD** ドライブモードを使用しないでください。この指示に従わないと、エアベローズを損傷する可能性があります。

ヘッドアップディスプレイユニット™ はメーター・パネルに配置されており、このユニットから情報が映し出されます。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、

カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。

センターディスプレイ

センターディスプレイの**清掃時**には、砂などの付着していないマイクロファイバークロスを使用してください。センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイを強く押さないように注意してください。強い力がかかると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗浄剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗浄剤は使用しないでください。研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

リアシートのバックレストを倒す

バックレストを折り畳む場合には、リアシートになにも置かないでください。また、シートベルトもバックルにはめないでください。センターシートのインテグレートドチャイルドシート* /アームレスト* は格納位置にしておく必要があります。

右側レバースイッチ

サービスポジションのワイパーブレード - ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。サービスポジションのワイパーアームをウインドスクリーンから起こした場合、ワイパー、ウォッシャーまたはレインセンサーを起動させる前、または車両を運転する前に、必ずワイパーアームをウインドスクリーンの元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

接続

電源ソケット - 12V 電源ソケットの最大出力はソケット1つあたり120W (10A)です。

230V 電源ソケットの最大出力は150Wです。

i 注意

エクステリア概要

キック操作のテールゲート - リアバンパーに大量の水、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下する、またはまったく動作しなくなる可能性があります。このため、つねにきれいな状態に保つようになしてください。

キック操作のテールゲート機能には、次の2つのバージョンがあります。

- ・足の動きで開閉ができる
- ・足の動きでロック解除のみができる(テールゲートは手で持ち上げて開く)

キック動作での開閉機能には、パワーテールゲート* が必要です。

最高位置のプログラム - システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約2分経過すると、再び作動させることができます。

電磁場および電磁遮蔽は、**リモートコントロールキーの機能**を妨げるおそれがあります。リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。必ず10~15 cm (4~6 インチ)以上離れた場所に保管してください。

インテリア概要

OFF ROAD ドライブモードは一般道で使用するためには設計されていません。

冷寒時、エンジン始動後のエンジン回転数が、通常よりも若干高くなる場合があります。これは、エミッションシステムをできるだけすみやかに正常な作動温度にして有害な排気ガスを抑え、環境を保護するためです。

ヘッドアップディスプレイ* - City Safety がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が City Safety のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。

例えば、偏光サングラスを着用している場合、シートの中央に座っていない場合、ディスプレイユニットのカバーガラスに物が置かれている場合、光条件が適切ではない場合などには、ヘッドアップディスプレイが見えにくくなる場合があります。視覚障害をお持ちの場合、ヘッド

アップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じる場合があります。

ステアリングホイール

トリップコンピューター - 走行方法が変わった場合には、走行距離の計算に誤差が生じる場合があります。

車内エアコンディショナー

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

プリコンディショニング - 車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

接続

インターネット - データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。データローミングおよび Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、追加費用が発生する場合があります。データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。携帯電話を使用してダウンロードする際は、データ通信費に注意してください。

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響をおよぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響をおよぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

アップデート - 携帯電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、Bluetooth 接続が中断される場合があります。この場合、いったん車両から携帯電話を削除し、再度接続してください。

接続した機器を使用する

Apple CarPlay および Android Auto - ホルボは CarPlay または Android Auto アプリのコンテンツに関して一切責任を負いません。

パークアシスト

もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気を付けてください。これは暗いときには特に重要です。

メモ

V O L V O

